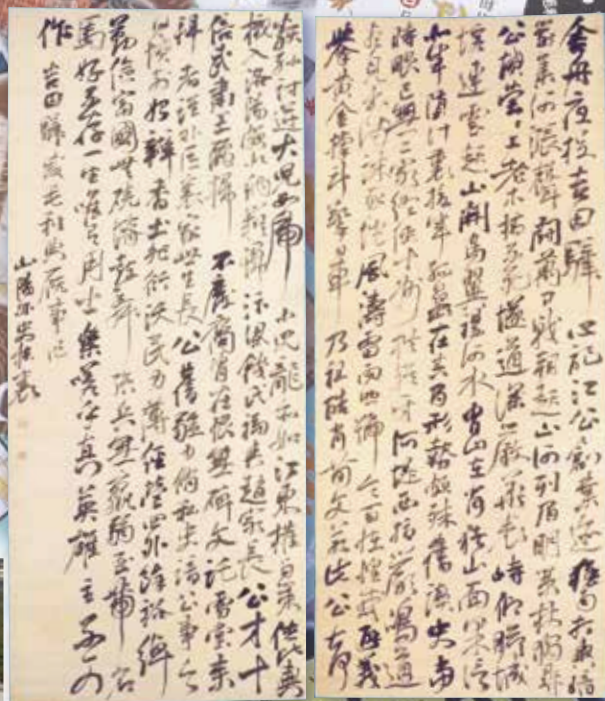




博物館の30年と 蔵出し至宝展

令和2年
6月2日(火)→8月30日(日)

※日程は変更の場合もあります



特別公開 市重文 頼山陽筆「吉田駅詩」



SINCE 1990 安芸高田市歴史民俗博物館

〒731-0501 広島県安芸高田市吉田町吉田278-1 TEL (0826) 42-0070

■入館料/大人300円(200円) 小人150円(100円) ※()団体20名様以上 ※5月5日(祝)は中学生以下無料
■開館時間/9時～17時 休館日/月曜日(5月4日を除く)、4月30日、5月7日



春季企画展 博物館の30年と蔵出し至宝展

安芸高田市歴史民俗博物館は、吉田町歴史民俗資料館として平成2年(1990)3月28日に開館しました。令和2年(2020)は開館から30年にあたり、本展はそれを記念して館の歩みを企画展ポスター、写真などの資料で振り返るものです。また、通常展示していないものの、歴史的価値の高い資料を厳選公開します。



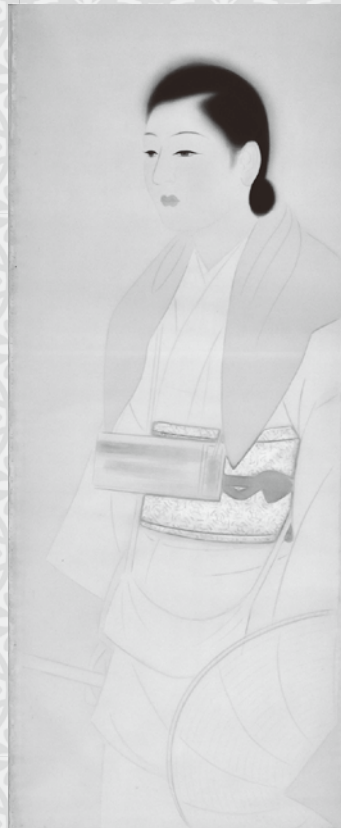
刀 伝古青江(鎌倉後期)
近年備前の名刀古青江であることが判明した、当館蔵の赤羽刀



浄国寺観音堂木造地藏菩薩半跏像
(鎌倉末期～室町前半)
天正期に開山の吉田浄国寺にあった菩薩像



ダム建設前の土師の風景
(昭和40年代初め)



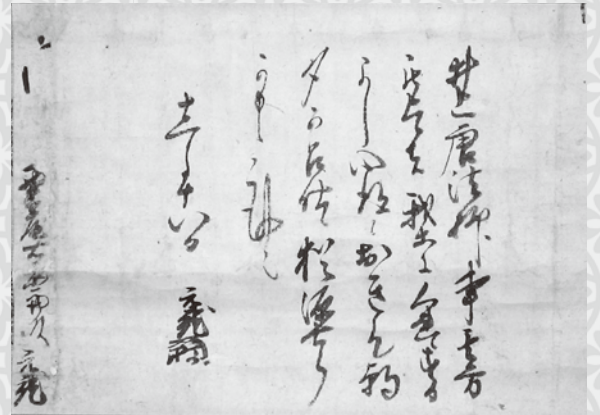
和高節二「浄心」(昭和17年頃)
向原町出身の画家。
お遍路の女性を描いた代表作の一つ



小島雪晴「ツキノエ図」(明治3年・個人蔵)
旧広島藩士小島雪晴による、アイヌ首長の模写図

【展示の見どころ】

- 1.毛利元就を称えた、頼山陽「吉田駅詩」
- 2.新発見!
ダム建設前の土師のカラー映像公開
- 3.歴代企画展全ポスター実物展示



毛利元就書状 粟屋元親宛(天文19年～永禄4年)
井上氏誅伐後、元就が井上虎法師(元就の子)の処遇について記した

【当館略年表】

和暦	西暦	主な出来事
昭和46	1971	「吉田郷土資料館」開館(当館の前身)
平成2	1990	「吉田町歴史民俗資料館」開館(当館) 特別展「毛利元就」開催
平成8	1996	NHK大河ドラマ「毛利元就」決定 元就村との共通券発行
平成9	1997	大河ドラマ「毛利元就」展開催 常設展示「中世吉田ゾーン」オープン
平成12	2000	開館10周年記念式典
平成15	2003	常設展示(通史ゾーン)リニューアル
平成16	2004	合併により安芸高田市誕生 「安芸高田市吉田歴史民俗資料館」へ改称
平成17	2005	登録博物館となる
平成18	2006	郡山城、日本100名城に選定される
平成19	2007	当館に100名城スタンプ設置(ラリー開始)
平成22	2010	「安芸高田市歴史民俗博物館」へ改称 通算入館者50万人達成
平成23	2011	第2・3展示室オープン、多目的室改装
令和2	2020	開館30周年

安芸高田市歴史民俗博物館

検索

■ アクセス

- 自動車 中国道高田ICより15分
広島県庁より国道54号線で約1時間20分
- バス 広島バスセンター又はJR可部駅より「吉田」行、
「安芸高田市役所前」下車